

# 「住まいるリース」提携

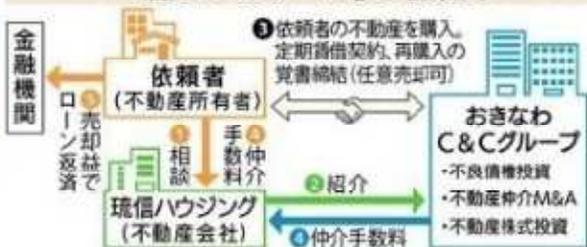
## おきなわC&Cグループと琉信ハウジング

### 自宅売り賃借買い戻しも



住まいるリースサービスの良さをPRするおきなわツナガルミライの大神田睦社長（右）と琉信ハウジングの城間泰社長

#### 「住まいるリース」の仕組み



おきなわC&Cグループ（那覇市）は、依頼者が債務整理などで自宅を売却し、現金化した後も賃借人として住み続けることができる生活再建サービス「住まいるリース」を提供している。同社が自宅を買い上げ、住宅ローンや固定資産税、管理コストなどを負担する。自宅を売却した依頼者の許可なく第三者に販売することはできないので、依頼者の家族が買い戻すことが可能となる。債務を整理し、これまで通りの生活を続けることができる。

（政経部・山田優介）

住まいるリースのセール&リースバック事業では、不動産（戸建てや集合住宅、商業ビルなど）を、売却価格がローン残高を上回っていることを条件に購入する。依頼者は売却で得た資金を住宅ローンなど債務返済に充て、売却後に定期賃貸借契約を結び、住み続けることができる。

セール&リースバック事業を扱う事業者の中には、再購入する際に法外な価格を提示するところもあるが、同社は売却時の契約前に再購入時の金額を提示するので安心して売買契約を結べるという。

サービスを拡大するために、同社は不動産業の琉信ハウジング（那覇市）と今年9月に包括業務提携を結んだ。管理費の支払いが滞るなど資金に困っている入居者の情報を琉信ハウジングが提供し、おきなわC&Cグループがサービスの活用を提案する。

琉信ハウジングの城間泰社長は「やむを得ず住み慣

れた住居を手放すことになった場合でも、このサービスを使ってまた家族が買い戻すことができる。困って

いる人の手助けになるとうれい」と話した。おきなわC&Cグループのおきなわツナガルミライの大神田睦社長は「社会問題解決につながるサービスなので、ぜひ相談してほしい」と呼びかけた。